



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

広島中央ロータリークラブ
2021 ～ 2022年度
事業計画書

2021-22年度 クラブ会長方針



会長 大久保 雅通

「今ここで ロータリーの原点を見つめよう」

国際ロータリー2021-22年度会長であるシェカール・メータ氏は、RI会長テーマを「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」とし、「奉仕するとき、誰かの人生だけでなく自分の人生も豊かになる」、「人びとの世話をし、奉仕することこそ、人生の最高の生き方」と述べ、奉仕プロジェクトへの積極的な参加を会員に呼びかけています。

また、国際ロータリー第2710地区2021-22年度ガバナー杉川聡氏は、ガバナー信条として、「みんなのためになるかどうか。未来のためになるかどうか。」～多様性を受け入れ、相互理解を深めよう！！～を掲げられました。今こそ、ロータリー活動の原点に立ち戻り、世界みんなのために、世界の未来のためになる行動をして行きましょう！！と呼びかけられています。さらに「みんなのためになるかどうか」と問いながら、DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進し、各クラブ運営の見直しを実施してほしいとも述べられました。

2020-21年度は、ほとんど全てが新型コロナウイルス感染症に左右された一年であったと言わざるを得ません。やむを得ない例会の取り消しも続き、クラブの行事の多くが中止を余儀なくされました。2021-22年度はこの感染症を終息に導く一年であり、クラブの運営も少しずつ元に戻ると期待されます。一方で感染対策としてWEBの活用が加速し、クラブ運営も新たな局面に立たされることになるでしょう。ロータリーの原点である「奉仕と親睦」を見つめ直し、新しい気持ちでロータリー活動に取り組む一年にしたいと思います。

会員の皆様の積極的なご支援を心からお願い申し上げます。

【2021～2022年度 広島中央ロータリークラブ所属委員会】

■理事役員

(2021.7.1-2022.6.30)

会 長	(理事) 大久保雅通	奉仕プロジェクト	(理事) 藤村 欣吾
直前会長	(理事) 芥川 宏	ロータリー財団	(理事) 古澤 宰治
会長エレクト	(理事) 山野井秀樹	クラブ広報	(理事) 新宮 且識
副会長兼会員組織	(理事) 鳥井 均城	クラブ管理運営	(理事) 児玉 哲郎
幹 事	(理事) 三宅 朗充	会 計	(理事) 好永 裕一
副幹事	西井 裕昭	S.A.A.	(役員) 大内総一郎
副幹事	政岡 誠二		

■会員組織委員会	理事・委員長 鳥井均城		* = 兼務			
	委員長	副委員長	委員			
会員増強・職業分類	砂田恭延	上田 恵	赤羽克秀	緒方俊平	橋本 満	村本憲康
			小佐古哲哉	宗正俊文*	大坂隆志*	
ロータリー情報(研修リーダー)	大坂隆志	宗正俊文	杉本嘉朗*	赤羽克秀*	吉川修平	

■奉仕プロジェクト委員会	理事・委員長 藤村欣吾					
	委員長	副委員長	委員			
職業奉仕	大田由孝	石原 健	熊野 巧	神保 紘	平松恵一*	
人間尊重・社会奉仕	松村公市	土谷治子	土肥博雄*	福田 浩	淀江晃太郎*	大田由孝*
国際奉仕	山本昌弘	吉川 恵	河野 隆	頼岡徳在	黒瀬真一郎*	田中純子
青少年奉仕	加藤孝子	七枝敏洋	原田啓吾	吉清有三	長場 誠*	岡田 茂*
ローターアクト委員会	嶋本文雄	西井裕昭*	田原榮一	松村公市*	下原千夏	大井太郎*

■ロータリー財団委員会	理事・委員長 古澤宰治					
	委員長	副委員長	委員			
ロータリー財団・米山奨学	西川 済	長場 誠	杉本嘉朗	出崎邦彦	河野 隆*	小林正夫*

■クラブ広報委員会	理事・委員長 新宮且識					
	委員長	副委員長	委員			
クラブ会報・資料保存	澁谷紀子	政岡誠二*	吉川修平*	好永裕一*	平瀬春男*	石原 健*
広報	安藤徹哉	岡田 茂	上原悠爾	徳見泰司*	大坂隆志*	加藤孝子*
I T	城本健司	池田繁実	通谷 章	村上恒二	高蓋寿朗*	宮下佳昌

■クラブ管理運営委員会	理事・委員長 児玉哲郎					
	委員長	副委員長	委員			
出席	政岡誠二*	平瀬春男*	迫田勝明	城川大二郎	宮下佳昌*	
親睦	桂 嘉彦	平瀬春男	上田 恵*	西川 済*	西川公一郎*	小林正夫*
			高蓋寿朗*	加藤孝子*	宮下佳昌*	石原 健*
プログラム	大井太郎	戸田幹雄	黒瀬真一郎	松村公市*	池田繁実*	大田由孝*
S. A. A.	大内総一郎	淀江晃太郎	出崎邦彦*	吉川修平*	下原千夏*	高蓋寿朗
			石原 健*			
会計	好永裕一	宗正俊文*	徳見泰司	澁谷紀子*		

特別委員会

	委員長	副委員長	委員			
国際交流基金特別委員会	大久保雅通*	三宅朗充*	迫田勝明*	吉川 恵*	澁谷紀子*	山野井秀樹*
			好永裕一*			
戦略計画委員会	藤村欣吾*	砂田恭延*	田原榮一*	戸田幹雄*	西井裕昭*	
がん予防啓発推進委員会	小林正夫	西川公一郎	平松恵一	土肥博雄	村上恒二*	山肩俊晴
			土谷治子*			

- 会計監査委員 河野 隆
 ○合同事務局運営委員 三宅朗充

会員組織委員会

理事・委員長 鳥井 均城



1. 方針

大久保会長の会長方針である「今ここで ロータリーの原点を見つめよう」を踏まえ委員会活動を展開してまいります。会員増強委員会・ロータリー情報委員会と共にコロナ禍でも実行出来る様工夫し活動してまいります。会員相互の連携を密にし、新入会員純増、既存会員の退会を防ぎ、広島中央ロータリークラブの活性化につなげていきたいと思ひます。

2. 計画

- ① 会員数純増3名を目指し、73名体制を目指します。
- ② 会員相互の連携を密にし、退会予防に力を入れてまいります。
- ③ 新会員を対象に、ファイヤーサイドミーティングを実施。
- ④ 戦略計画委員会と連携し、楽しく交流を深められるクラブ研修セミナーを実施。

会員増強・職業分類

委員長 砂田 恭延



1. 方針

大久保会長の会長方針である「今ここで ロータリーの原点を見つめよう」を踏まえ委員会活動を展開してまいります。コロナ禍で会員増強も難しい中ではありますが、委員会メンバー、また、会員の皆様の協力を頂きながら新入会員を増やすことで、広島中央ロータリークラブの活性化につなげていきたいと思ひます。合わせて、会員相互の連携を密にし、既存会員の退会を防ぐことを念頭に活動してまいります。

2. 計画

- ① 会員数純増3名を目指し、73名体制を目指します。
- ② 会員相互の連携を密にし、退会予防に力を入れてまいります。
- ③ 職業、年齢及び性別に偏りがないう、会員増強にとり組みます。
- ④ 入会候補者の例会への歓待、入会後のフォローアップなど、一連の流れについて検討する。
- ⑤ 会員の適正規模について、中長期的な計画を検討する。

3. 予算 50,000円

ロータリー情報

委員長 大坂 隆志



1. 方針

会長方針である「今ここで ロータリーの原点を見つめよう」を踏まえ、新会員の方々にはわかりやすいロータリーの情報提供をし、入会3年未満の方々にはロータリー活動への理解と魅力を深めていただけるよう、戦略計画委員会と連携し、コロナ禍でも対応できる活動を行います。

2. 計画

- ① 入会予定者へは、推薦者と訪問しロータリーを楽しくわかりやすく理解していただくインフォメーションを実施します。入会後も新会員へのフォローを行います。
- ② 新会員を対象に、ロータリーの基礎知識を楽しく学んでいただけるように、少人数でファイヤーサイドミーティングを実施します。
- ③ 戦略計画委員会と連携し、入会3年未満会員の方々を対象に、ロータリーの原点でもあります「奉仕と親睦」について、楽しく交流を深められるクラブ研修セミナーを実施します。
- ④ RIの情報を例会等で報告しHPにも掲載していきます。
- ⑤ すべてにおいてコロナ禍でもできる活動を検討していきます。

3. 予算 50,000円

奉仕プロジェクト委員会

理事・委員長 藤村 欣吾



1. 方針

会長方針「今ここで ロータリーの原点を見つめよう」を念頭にロータリーの中心的活動である奉仕活動を展開してゆく。これまで培われて来たクラブの奉仕活動を基盤にこれを発展させ、ロータリーの原点である奉仕活動に会員が手軽に参加できる取り組みを行う。そのためには各委員会が連携し奉仕活動を行いやすくなる状況を作り出したい。

2. 計画

職業奉仕委員会
ロータリアンとしての倫理的行動規範の確認と職業奉仕に関する卓話の設定、職場訪問例会、優良授業員表彰により異職種理解と奉仕活動の啓発に取り組み、会員の健康保持のための健康診断の受診援助を行います。

人間尊重・社会奉仕委員会
「献血運動」や「マイカー乗るまあデー」のPR活動の推進に

加え、広島ならではの原爆平和式典参列者おもてなし事業の継続を行います。新たな社会奉仕活動として子供食堂への支援や聴覚障害者の自立と社会参加への支援活動を行います。

国際奉仕委員会

古切手、書き損じはがき等の収集を継続し、コロナ禍でも会員が共有できる奉仕活動を検討する予定です。

青少年奉仕委員会

RYLAへの参加を心がけるとともに、社会奉仕活動を通じて青少年、ローターアクトクラブとの相互理解を深めます。

ローターアクト委員会

広島中央ローターアクトクラブの強固な基盤の確立を目指すとともに、今年度2710地区ローターアクト代表を担当する広島中央ローターアクトクラブへの支援を行う。

職業奉仕

委員長 大田 由孝



1. 方針

ロータリークラブの原点に踏まえ倫理的行動規範、職業奉仕の考え方や取り組みを学び発信すると共に、コロナ禍の中で会員同士のつながりをより一層深める為にはどうすれば良いかを考え実施をしていきたい。

2. 計画

- ①職業や生活のあらゆる場面で倫理的行動を実践するための指針として「四つのテスト」「ロータリアンの行動規範」を、毎月例会において唱和します。
- ②職業奉仕月間に職場訪問例会を実施、オンラインでの検討も模索
- ③プログラム委員会と連携し、職業スキルの向上に務めるよう会員卓話の実施を図ります。
- ④職業奉仕の原点でもあります、健康保持のため健康診断の斡旋を行います。
- ⑤会員の職業奉仕実践に貢献した優良従業員の募集・表彰を行います。

3. 予算

一般会計 100,000円
ニコニコ会計 120,000円

人間尊重・社会奉仕

委員長 松村 公市



1. 方針

会長方針である「今ここでロータリーの原点を見つめよう」を念頭に奉仕プロジェクトへの積極的な参加を呼び掛けておられます。

当委員会も会員全員が積極的に参加できるように、十分な呼びかけをし、「人々の世話をし、奉仕する事こそ、人生の最高の生き方」と思えるような活動が出来る様に、これまでの活動を継続する事と、今、必要な支援活動に取り組むことを会員全員が喜びと感じられるように努力をしていきます。

2. 計画

- ①地区補助金を活用し、広島県立広島南特別支援学校(聴覚障害)に地区補助金39万円とクラブ資金209,500円合計599,500円で中等部の希望品を贈呈し、交流を深め聴覚障害者の自立と社会参加へ向けての貢献をさせていただきたいと思います。
- ②当クラブの主要事業である献血活動支援を継続して行うとともに、前年度、前々年度はコロナ感染の拡大により実施できなかった「マイカー乗るまっデー」キャンペーンの脱炭素社会の実現への啓蒙活動をコロナ感染症の状況次第ですが、実施していきたい。
- ③平和式典の参加者に対するおもてなし事業を継続して行いたい。
- ④コロナ禍でなお一層の支援が必要となっている「こども食堂」ですが、最も必要な「こども食堂団体」どうしの食材不足や課題を吸い上げたり、課題解決の支援をする中間機能を果たす活動をする「NPO法人子供食堂支援センター」に必要な支援をし、こども食堂への尚一層の増設と、開催日増への取り組みに繋がる支援を行いたいです。

3. 予算

- ①広島県広島南特別支援学校への支援品購入費(30万円)
- ②献血支援・マイカー乗るまっデー活動(70万円)
- ③平和式典参加者おもてなし事業(10万円)
- ④こども食堂支援センター(30万円)

国際奉仕

委員長 山本 昌弘



1. 方針

会長方針である「今ここで ロータリーの原点を見つめよう」に基づきの継続、独自性を生かす奉仕活動に取り組みます。

また、会員の保有する専門性を活かした活動により、国際社会に、健康、教育、青少年育成、交流の促進に関する貢献を行い、将来へ向けた社会づくりに寄与することを基本方針とします。

従来から取り組んでいる国際奉仕活動の継続と、クラブ内や他クラブ・団体との連携事業の実施に向け検討します。

2. 計画

①古切手、書き損じはがき等の収集の継続

発展途上の女性や子供たちを支援する国際奉仕活動を行います。

②将来のグローバル補助金へ向けた活動として、昨年度交流があったケニアのNGOへわがクラブ独自での支援活動を行います。この活動は人間尊重・社会奉仕委員会と連携して行います。

③姉妹クラブ、他クラブとの交流・連携

台中市西区ロータリークラブとの交流ならびに他のクラブと連携した奉仕事業を検討します。

3. 予算 300,000円

青少年奉仕

委員長 加藤 孝子



1. 方針

会長方針に沿って、ロータリー青年指導者養成プログラム(RYLA)を学び、会員・青少年・ローターアクトクラブ、ローターアクト委員会と共に連携を図り活動して参ります。関係する人々が、楽しく奉仕活動を行い、より良い地域社会への一助となるよう目指します。奉仕プロジェクト委員会内の委員会と連携し事業への協力を行います。

2. 計画

①2010年から継続しています「献血支援活動、マイカー乗るまっデーPR活動」を、会員・会員家族・ローターアクター、会員の従業員の皆さん、学生ボランティアの皆さんとの絆を大事にし、共に協力して行います。

②ローターアクトクラブ例会・RYLAに参加し、青少年奉仕について効果的な活動を検討します。

3. 予算

一般会計 100,000円

ニコニコ会計 200,000円

ローターアクト

委員長 嶋本 文雄



1. 方針

今年5年目を迎える広島中央ローターアクトクラブにおいては、会長方針に基づき、ローターアクトの会員が本クラブのファミリーの一員としてさらに多くの活動ができるように支援し、社会の指導者さらに人間的にも成長できるような環境を作って行きたいと思えます。2019 年規定審議会 でローターアクトクラブの RI 加盟が承認されたことについて、今後それに対応していく。

2. 計画

1. 2021-22年度 国際ロータリー第2710地区ローターアクト代表(地区運営の総括役)に板井君が 就任し、

2021年 7月11日(日):第1回地区協議会

2022年 4月9日・10日(土・日):地区年次大会

を開催する。

その行事に多くのRC会員が支援し、参加する。

2. 5周年をむかえるにあたって、記念祝賀会ならびに記念誌発行をおこなう。

3. 会員増強(例会にてクラブフォーラムを開催して全員で検討)

4. RI 加盟が承認されたことについて、今後それに対応、協議。

3. 予算

2,000,000円

RA支援(1,000,000円)祝賀会、記念誌発行(1,000,000円)

ロータリー財団委員会

理事・委員長 古澤 幸治



1. 方針

会長方針である「今ここで ロータリーの原点をみつめよう」を念頭に、「世界でよいことをしよう」という目的をもって設立されたロータリー財団、及び、母国と日本の架け橋とな

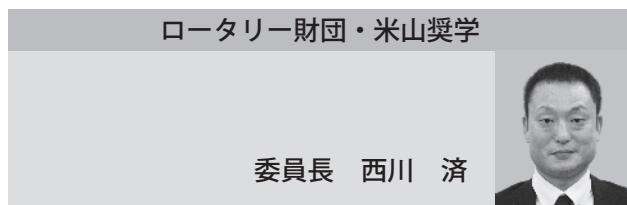
り国際社会で活躍する留学生の援助を目的として設立された米山記念奨学会の理解を深めてもらう。

ロータリー財団および米山記念奨学会への支援について、クラブの達成すべき目標を会員の協力を得て達成する。

- a 年次寄付150ドル/人
- b ベネファクター1人/クラブ
- c ポリオプラス35ドル/人
- d 米山基金16,000円/人

2. 計画

- 1)ロータリー財団のクラブフォーラムを実施し、会員の皆様への理解を促進する。
- 2)奉仕プロジェクト委員会と共に新しい地区補助金事業計画の立案を促進する。
- 3)米山記念奨学生を通じて、会員の皆様へ米山記念奨学会の理解を促進する。



1. 方針

- (ア)会長方針である「今ここで ロータリーの原点をみつめよう」を念頭において活動する。
- (イ)「世界でよいことをしよう」という目的をもって設立されたロータリー財団、及び、母国と日本の架け橋となり国際社会で活躍する留学生の援助を目的として設立された米山記念奨学会の理解を深めてもらう。

2. 計画

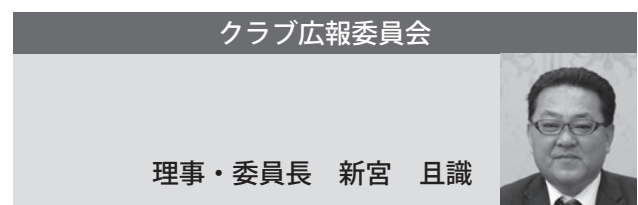
- (ア) 寄付目標
 - a 年次寄付150ドル/人
 - b ベネファクター1人/クラブ
 - c ポリオプラス35ドル/人
 - d 米山基金16,000円/人
- (イ) 定例会の委員会報告
 - a ロータリー財団及び米山記念奨学会の情報を提供する。
ロータリー財団について、ポリオプラスをはじめ世界でよいことをしている事例を紹介する。また、グローバル補助金の獲得に向けて実際に補助金を獲得した他クラブの活動事例を報告する。
※「ロータリー財団と寄付」の冊子作製
 - b ロータリー財団室News、ハイライト米山を配布する。
 - c 愛のコイン箱のお願い。
- (ウ) 米山月間
 - a 2021-22年度、広島経済大学の李海月(りかいげつ)

さんの卓話を行う。また、直近の米山記念奨学会の情報を提供する。

- b 米山功労者の募集。
- (エ) ロータリー財団月間
 - a ポールハリスフェロー・マルチプルポールハリスフェロー認証促進運動を実施する。5名を目標に協力要請を行う。
 - b 財団の説明に関する卓話を行う。
- (オ) 地区補助金
 - a 次年度以降の地区補助金対象事業の立案について、奉仕プロジェクト委員会をサポートするとともに地区補助金の給付を受ける。
 - b ジェイムズ常マシューさん(イギリスへの大学留学予定)のカウンセラーを行う。

3. 予算

一般合計 50,000円
ニコニコ会計 200,000円



1. 方針

会長方針である「今ここで、ロータリーの原点を見つめよう」の原点である、「奉仕と親睦」を見つめなおし、新たな気持ちでロータリー活動に取り組み、また執行部・各委員会・事務局と連携し、広島中央ロータリークラブの活動をクラブ内外に発信していく。

2. 計画

「ロータリーの友」をロータリー月間に合わせた記事や身近な記事を中心に、委員長持ち回りで紹介する。

「クラブ会報・資料保存委員会」
各委員会や事務局に協力を頂き、できるだけ新鮮な情報を、正確かつタイムリーに発信します。

「広報委員会」
本年度の予定しているクラブ事業に関し、早めの情報収集を行いメディアで発信することで、当クラブの認知度を上げていきます。

「IT委員会」
クラブ会報・資料保存委員会と連携し、ホームページの更新をリアルタイムに行い、ホームページの更なる改善も検討していきます。
又、引き続きMY ROTARYの登録率アップや、利用促進も促していきます。

クラブ会報・資料保存

委員長 澁谷 紀子



1. 方針

現在発行している紙媒体の会報を廃止して、IT委員会と連携してホームページの充実を図り、会報に代えていきたいと思ひます。

例会時や様々な行事の写真撮影は委員全員で分担して行ひ、一部の委員に負担が偏らない様に心掛けまひす。

2. 計画

今年度は、会報用ファイル(3年分)を作成する年なので、新年度が始まる迄に会報の廃止について理事会に諮って頂き、それに従って進めていきたいと思ひます。

廃止が決まった場合、ホームページの閲覧が困難な会員については、現在の会報に準ずる様に各月の例会記録等を印刷して例会時に配布しまひす。

資料保存について現状を把握し、その内容についても検討したいと思ひます。

3. 予算

会報を廃止した場合

会報 165,000円/月 (6月号)	165,000 円
史料のアーカイブ	200,000 円
	計 365,000 円

広 報

委員長 安藤 徹哉



1. 方針

会長方針の「今ここで、ロータリーの原点を見つめよう」を踏まえ、本年度予定されている当クラブの活動内容を各委員会と連携して情報を内外に発信し、我々広島中央ロータリークラブの認知度向上を図る。

2. 計画

- ①各委員会と連携して早めの情報収集を行い、正確に情報を発信する。
- ②マスメディアに取り上げてもらえるように、タイムリーな情報をPRしていく。
- ③「ロータリーの友」、「ロータリーアットワーク」への投稿をする。
- ④中国新聞等の地元メディアに取材をしていただけるよう、積極的に働きかけていく。

3. 予算 50,000円

IT

委員長 城本 健司



1. 方針

大久保会長の方針の「今ここで ロータリーの原点を見つめよう」に沿ひ、ロータリークラブの原点と広島中央ロータリーの独自の良いところを、HPで内外に発信していき、会員相互間の情報共有に役立てるとともに、外部から閲覧される方々にも伝わるようなHPにしていきたいです。

2. 計画

クラブ会報・資料保存委員会と連携して、当クラブの様々な活動を当クラブのHPにタイムリーに更新していき情報発信していくとともに、資料保存を行っていきます。

現ホームページを更にグレードアップするために、IT委員会を中心にクラブ会員が

応分な関与を行ひながら、情報発信や情報管理に努められるプラットフォームに改善していけるよう、HPの更改と新たな運営方法を検討していきます。

MY ROTARYへの登録・利用の促進を図ります。

MY ROTARYや「ロータリーの友」電子版を利用して、国際ロータリーの活動をクラブ内にも広めていきます。

3. 予算

IT委員会:HPの更改・改善・維持管理費等:1,200,000円
(HP更改のため増額をお願いします。)

クラブ管理運営委員会

理事・委員長 児玉 哲郎



1. 方針

会長方針である「今ここで ロータリーの原点を見つめよう」に基づき、クラブの原点を踏まえわがクラブの独自性・良いところの特徴を活かしてゆきます。また新型コロナウイルス感染の収束が見えない状況下、クラブの諸活動には様々な制約がかかると考えられますが、出来るだけ楽しく笑顔あふれる空間になるようクラブ管理運営委員会全員で運営に尽力しまひす。

2. 計画

出席委員会

例会に興味を持って出席いただくよう翌月の行事等の案内を行うとともにメイキャップの案内をして出席率100%の維持を目指しまひす。

親睦委員会

会員同士の親睦を今まで以上に深め、相互理解を深めるために各種行事の運営に努めます。

プログラム委員会

新入会員をはじめクラブ内会員、さらにクラブ間交流を深める意味で他クラブの会員卓話を行ってまいります。

S.A.A.委員会

ゲストの方々にロータリークラブの楽しさを再認識いただくとともに、ニコニコ箱への会員投稿を促進し、かつ他委員会と連携して例会運営の円滑化を図ります。

会計委員会

予算編成の段階から会長・幹事・各理事との連携を図り、不測の事態にも臨機応変に対応出来るような計画を立ててゆきます。また、委員全員で情報を共有し、予算に沿った円滑な運営に努めてゆきます。

出席

委員長 政岡 誠二



1. 方針

制約の多いコロナ禍において、S A A・親睦各委員会と連携し、充実した例会となるよう努めることにより、出席率100%の維持を目指します。

2. 計画

例会時に当日と前々回の出席報告をします。また、次第によっては、翌月の行事等もお知らせします。

3. 予算 200,000円

親 睦

委員長 桂 嘉彦



1. 方針

会長方針「今ここで ロータリーの原点を見つめよう」に基づき、クラブ活動が楽しく活力あるものとなる様、そして奉仕活動の活力となる様、取り組んで参ります。

会員同士の親睦を今まで以上に深め、相互理解を深める為に、親睦会・家族会・新入会員歓送迎会等、コロナ感染防止徹底を最大限に図りつつ、運営に尽力して参ります。

一年間を通じ、たくさんの笑顔を生み出す様、親睦委員会の皆さまのご協力を頂きながら、積極的に活動して参りたい

思っております。

2. 計画

- ① 8月20日（金） 野球観戦例会
- ② 11月29日（月） 夜間例会（創立43周年記念例会）
- ③ 12月25日（土） 夜間家族例会（クリスマス会）
- ④ 6月27日（月） 最終夜間例会（点鐘引継）
新入会員歓迎会 随時開催

3. 予算

夜間例会・家族会等補助 3,600,000円
会員記念日費用 800,000円

プログラム

委員長 大井 太郎



1. 方針

会長方針を基本に、会員に有意義な例会プログラムを実践します。また、例会プログラムを通じて、より深く仲間のことを理解できるように運営してまいります。

2. 計画

コロナ禍の活動で制約が多いと想定されますが、卓話者は会員内外であらゆる分野を想定しておりますが、広島中央RCの新入会員には従来通り卓話を必ずお願いいたします。また、クラブ間交流を深める意味で、他クラブの会員卓話を行ってまいりたいと考えております。

会員相互の絆が強くなるよう心掛け、計画、実行してまいります。

3. 予算 400,000円

S.A.A.

委員長 大内 総一郎



1. 方針

会長方針「今ここで ロータリーの原点を見つめよう」に基づき例会運営を行っていきます。ロータリーの原点に立ち戻り、会員同志の相互理解を深めること、ゲストの方々にもロータリークラブの楽しさを再認識して頂けるよう努めていきたいと思ひます。

2. 計画

- ① 親睦委員会と連携し、例会での来客のおもてなしを行います。

- ②会員の皆様にニコニコ箱への投稿を促進し、例会運営を円滑に行っていくこと、そして、会員同志の相互理解をより深めて行けるよう努めます。
- ③家族会や夜間例会等、親睦委員会と連携し、楽しい集いになるよう努めます。

3. 予算 100,000円

会 計	
委員長 好永 裕一	

1. 方針

予算編成の段階から会長・幹事・各理事との連携を図り、不測の事態にも臨機応変に対応出来るような計画を立てていきたいと思ひます。

また、会計委員会の委員全員で情報を共有していきます。

2. 計画

各委員長には、2019-20年度・2020-21年度の決算報告書を参考に予算を立てていただき、各理事と共に事業計画に基づいた予算が組まれているか確認して、予算に沿った円滑な運営に努めたいと思ひます。

国際交流基金特別委員会	
委員長 大久保 雅通	

1. 方針

当委員会は1988年にクラブ創立10周年を記念し、広く国際交流への援助を行うことを目的に設立された。当初は500万円の予算で開始されたが、のちに500万円が追加され、現在は1000万円の基金となっている。具体的には当委員会の決定を理事会が承認した時に、国際交流への援助のため、拠出金の基金への受け入れ、果実の出金を行うことができると定められている。

しかしながら昨今の厳しい金融情勢のため、基金の利息は僅少であり、2018-19年度にグローバル奨学生への支援に充てた以外、本来の基金の目的にかなう活動が行えているとは言ひ難い状況が続いている。

2. 計画

広く会員の意見をお聞きし、規約の改正等を含む基金のあり方や、基金本来の目的にかなう事業内容について、検討を行う機会を設けたい。

戦略計画委員会	
委員長 藤村 欣吾	

1. 方針

会長方針に基づき、ロータリーの原点を見つめながら、時代の流れを読み解き中長期的なロータリー活動を提案してゆく。

2. 計画

1. 自然災害、医療(がん予防、感染症)、貧困(格差社会)、を奉仕活動のキーワードとする。
 - 1) 既存の奉仕活動の見直し: 存続、改訂、終了を含めて検討する
 - ・マイカー乗るまっデー
 - ・化石燃料削減の取り組みーエコドリム運動
 - 2) 上記キーワードに基づいた新たな奉仕活動の模索ー職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕委員会と共同作業
 - 3) コロナ禍での奉仕活動の在り方の検討

2. 研修活動、教育活動を充実させるー会員組織委員会との作業

- ・入会3年未満会員への研修セミナーの開催
- ・ファイヤーサイドミーティングの開催
現段階ではオンライン開催などで仲間意識を維持するなど提案

3. ローターアクトクラブに関する検討ー基盤を強固にするための会員増強について提唱クラブとして検討する。
長期的には存続性についても今一度クラブで検討し意思統一する必要がある。

3. 予算 100,000円

がん予防啓発推進委員会	
委員長 小林 正夫	

1. 方針

がんは本邦死亡原因の第一位(全年齢において30%弱)であり、その予防啓発の重要性は明らかです。本クラブでは数年にわたり、がん予防啓発推進に積極的に取り組み、アンケート調査から、がん二次予防としてのがん検診率の向上に取り組んでいる。2019年度のがん検診率は本人ならびに家族では80%以上となり、取り組みの成果が認められている。しかし、2020年度は新型コロナウイルス感染症の爆発的流行に伴い、がん検診を含めた受診抑制が認められた。本年度は再度、コロナ禍におけるがん検診ならびに生活習慣に対して、アンケート調査による再評価を行い、過去5年間の調査と結果と

比較しながら, がん予防に対する意識と生活習慣の問題点を把握し, 予防啓発の向上を目的とする。

2. 計画

1. 過去4回のがん予防啓発推進アンケートに基づいたコロナ禍での再調査と解析
2. 解析結果に基づいた問題点提起と具体的予防推進活動
3. がん予防とがん患者支援に関する卓話の企画
4. がん拠点病院における公開講座の聴講推進
5. がん予防講演会の企画

3. 予算

卓話・講演会講師料:40,000円

調査印刷費:20,000円

郵送費:20,000円

合計:80,000円